

農林水産省大臣官房長賞

『憧れの給食』

岐阜県美濃加茂市立古井小学校 五年 女子 西田 江里菜

わたしは、小学校の給食を一度も食べたことがありません。病院に通う必要があり、学校を欠席することも多かったので、登校する日は、お母さんが作ってくれるお弁当を持って行きました。

クラスの友達からは、

「お弁当なんていいなあ。」

と、言われたこともありましたが、わたしは、みんなが食べている給食の方が羨ましかったです。

給食の献立の中でも、ソフトめんミートソースは、わたしが食べてみたいと憧れる料理です。

その日は、四時間目くらいから、ケチャップの甘い匂いが教室まで漂ってきて、わたしのお腹は我慢できず、授業中グウグウ鳴っていました。

ソフトめんミートソースは、うどんなような白くやわらかいめにソースを絡めて食べるのですが、それを食べるみんなの顔はいつも幸せそうで、わたしには、それが素晴らしい美味しい食べものに見えました。今でも目を閉じると、そのときの光景が蘇ってきて、どこからか、あの甘い匂いも漂ってくるような気がします。

わたしが学校に通えなくなって、数年の月日が経ちますが、昨年担任だったN先生は、他のお便りと一緒に給食の献立表も届けて下さいました。

わたしが学校へ行くこともなければ、給食を食べることもないのに・・・。

そんなことを思いながら、ただ眺めているだけのお便りでしたが、いつの頃からか、わたしは月の初めに届けられる献立表を心待ちにしていました。そこに書かれたメニューやイラストから、食事を想像したり、何年も会っていないクラスメイトの顔を思い浮かべたりして、穏やかで温かな時間を過ごすことが出来ました。

学校の給食は、お腹を満たすだけのものではないことを、わたしは知りました。

給食の献立表に、ありがとうございます。

そして、もしも願いが叶うなら、憧れの給食ソフトめんミートソースを、いつか食べてみたいです。